FastEther PCI-TX

取扱説明書・Windows®98編

この度は、「corega FastEther PCI-TX」アダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品を Windows98 のもとで正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

注意 この取扱説明書に記載の内容は、Windows98の事前評価版をもとに作成されています。手順などが正式版のWindows98におけるものと異なっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

目次

1 Windows98 へのインストール 1
- 1.1 ドライバーディスク 2
- 1.2 用意するもの 2
- 1.3 ドライバーの新規インストール 2
- 1.4 インストールの確認とアダプターの設定 4
- 1.5 ドライバーの更新 5
- 1.6 ドライバーの削除 7
- 1.7 ドライバーの再インストール 8

2 ドライバーのトラブル 8
- 2.1 本製品を認識しない 8
- 2.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く 8
- 2.3 リソース値重複の回避 8

3 ネットワークのトラブル 9
- 3.1 LINK LED は点灯していますか？ 9
- 3.2 LINK LED は点灯しているが 9

おことわり 10

1 Windows98 へのインストール

注意 ここに挙る手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。また、本書では、AT 互換機/PC98-NX へのインストールを例にして説明します。PC-9800/PC-9821 の場合、ディスクドライブ名などが異なります。

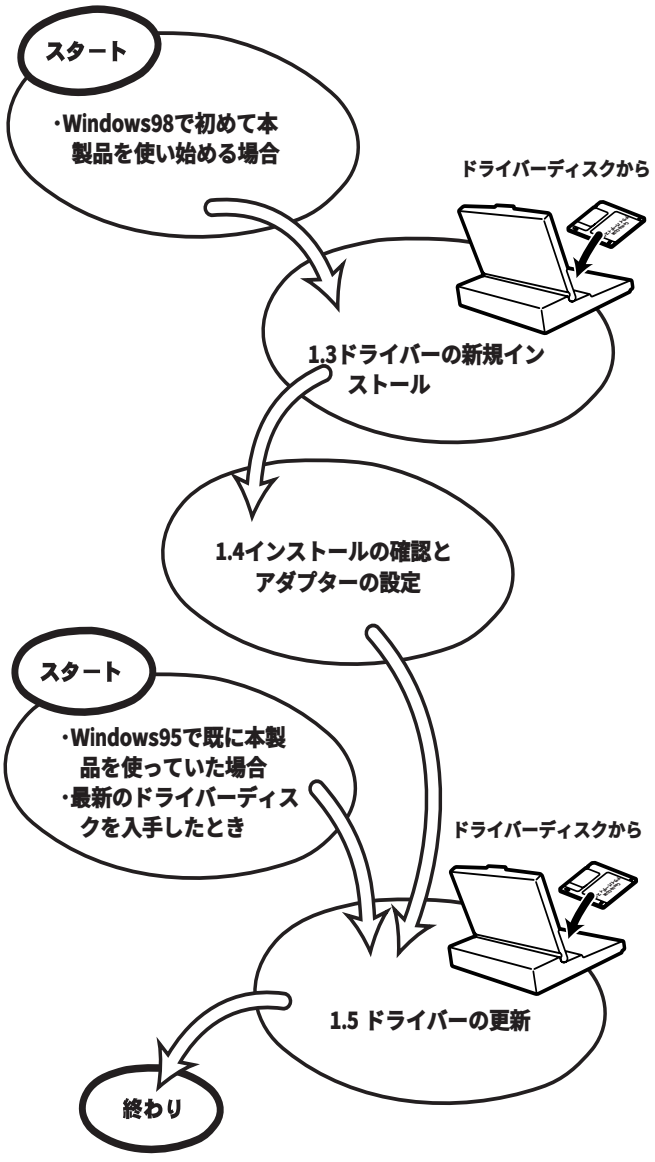

図 1.1.1

本製品のドライバーを初めて Windows98 にインストールする場合、例えば次にあげるような場合には、「**1.3 ドライバーの新規インストール**」を実行し、その後「**1.4 インストールの確認とアダプターの設定**」に進んでください。

PN J613-M0435-00 Rev.A 980703

- Windows98 を新規インストールし、これから本製品のドライバーのインストールを始める。
- プリインストール版 Windows98 へのインストール。
- Windows95 から Windows98 にアップグレードしたが、Windows95 では本製品のドライバーをインストールしておらず、Windows98 で初めて本製品を使い始める。

Windows95 から Windows98 にアップグレードしたとき、既に**Windows95で本製品を使用していた**場合、Windows98へのアップグレードによって、Windows98のCD-ROMから自動的にインストールされているドライバーでは、本製品は正しく動作しません。必ず、本製品に付属のドライバーディスクを使用して、最新のドライバーに更新してください。また、弊社のホームページなどから、最新のドライバーを入手した場合も更新を実行します。ドライバーの更新をする場合は、「**1.5 ドライバーの更新**」に進んでください。

1.1 ドライバーディスク

本製品には、下記のドライバーディスクが付属しています。Windows98にインストールする場合には、このドライバーディスクをご使用ください。

- Windows 用(AT 互換機、PC-98 共通)

Windows98 用ドライバーは、「**\windows.98**」ディレクトリに置かれています。また、必ずドライバーディスクに含まれる「**README.***」ファイルをお読みください。「README.*」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報が書かれています。

注意 \README.1ST(Read me first.)ファイルには、ドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に関わることが記載されています。各ディレクトリの中には、それぞれのドライバーに関連する README ファイルが存在します。

1.2 用意するもの

- corega FastEther PCI-TX本体、ネットワークケーブルなど
- コンピュータ(Windows98 インストール済み)
- corega FastEther PCI-TX Windows 用ドライバーディスク(本製品に付属)
- Windows98 の CD-ROM

警告 Windows98 がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows98 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクに Windows98 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

注意 Windows98 にインストールする場合は、Windows95 のインストール手順と異なっています。Inst95.bat(Windows95 用のインストーラー)は起動しないでください。

1.3 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーを Windows98 に新規インストールする手順を説明します(ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。本製品のドライバーは、本製品に付属のドライバーディスクを使ってインストールします。

(1) 本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けた状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows98 を起動してください。

(2) Windows98 の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れてください。

(3) Windows98は本製品を自動的に検出し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。

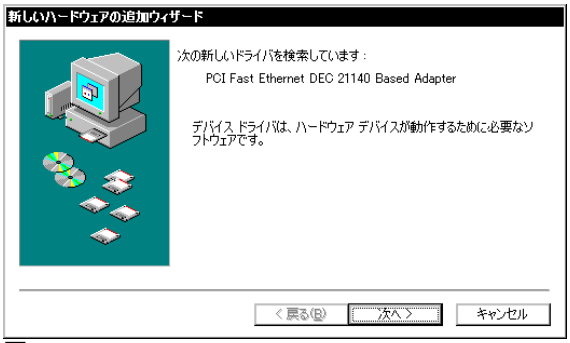

図 1.3.1

注意 デバイス名は、AT互換機/PC-98NXの場合は「PCI Fast Ethernet DEC 21140 Based Adapter」、PC-9800/PC-9821 の場合は、他社のデバイス名が表示されます。

(4) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

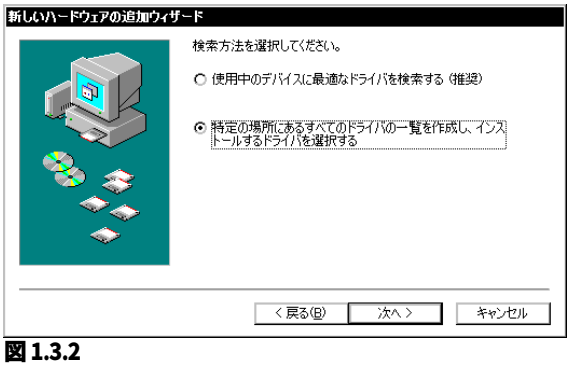

図 1.3.2

(5) 「すべてのデバイスを表示」ラジオボタンをクリックし、「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。(デフォルトは、「互換性のあるデバイスを表示」になっています)

図 1.3.3

(6) 本製品の最新の Windows 用ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、次のダイアログで「A:\windows.98」を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

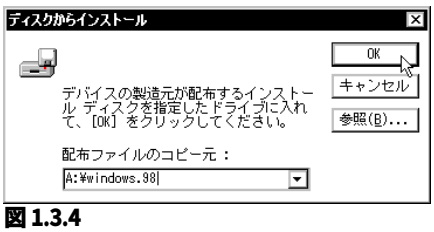

図 1.3.4

(7) 次のダイアログが表示される場合は、フロッピーディスクドライブにドライバーディスクが正しく挿入されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。

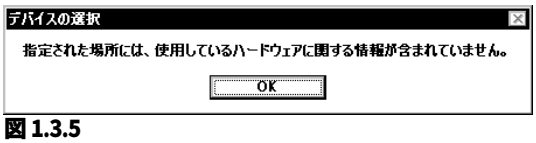

図 1.3.5

(8) Windows98によってドライバーディスクが走査され、「デバイスの選択」ダイアログが現れ、モデル名には「corega FastEther PCI-TX Ethernet Adapter」が表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。次のダイアログは閉じ、図1.3.3に戻りますが、図1.3.3が自動的に閉じるまでそのまましばらくお待ちください(1～2分)。

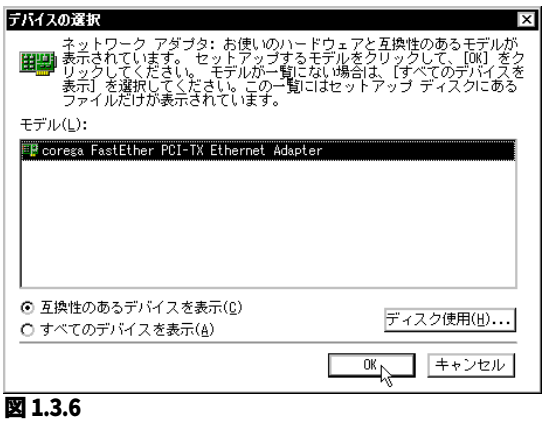

図 1.3.6

コピーの途中で下記のダイアログが現れる場合、CD-ROMがCD-ROMドライブに正しく入っていることを確認し、「OK」をクリックしてください。

図 1.3.7

次のダイアログが表示されたら、「ファイルのコピー元」で「A:\windows.98」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。本製品のドライバー「COPCITX.sys」は、ドライバーディスクからコピーする必要があります。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

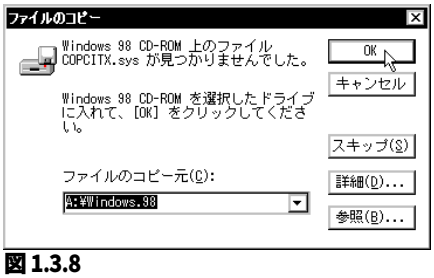

図 1.3.8

(9) 次のダイアログで「ドライバのある場所」が「A:\WINDOWS.98\NETCOKK.INF」であることを確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

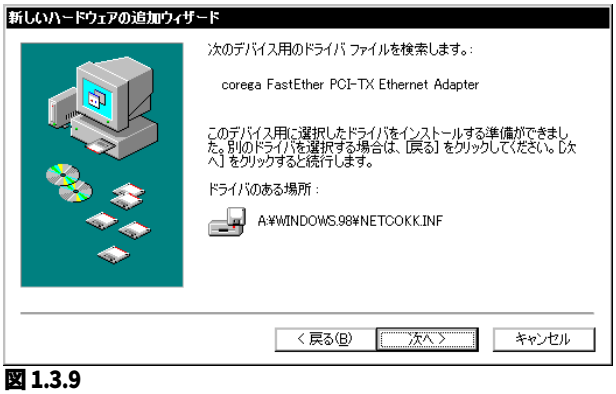

図 1.3.9

(10) 本製品のドライバー以外のファイルが CD-ROM からコピーされます。

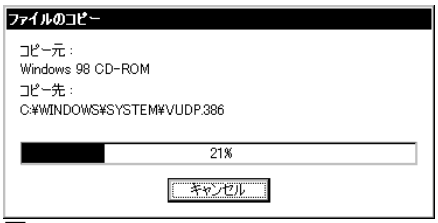

図 1.3.10

注意 「ファイルのコピー」ダイアログで、本製品のドライバー以外のファイルがみつからないと表示された場合は、AT 互換機 / PC98-NX の場合はパスとして「D:\win98」を入力し、PC-9800/PC-9821 の場合はパスとして「Q:\win98n」を入力してください。ここでは、CD-ROM ドライブ名をそれぞれ[D:]および「Q:」と仮定します。

(11)「完了」をクリックしてください。

図 1.3.11

(12) 次のダイアログが表示されます。フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」をクリックして、コンピュータを再起動してください。

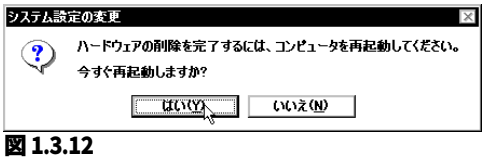

図 1.3.12

注意

インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN 環境で TCP/IP をご使用になっている場合は、DHCP の設定に関してシステム管理者にご相談ください。

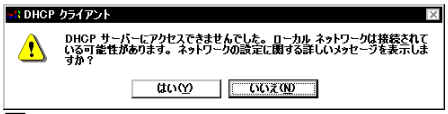

図 1.3.13

(14) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「**1.4** インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

1.4 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

1. デバイスマネージャによるインストールの確認

(1)「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」をダブルクリックしてください。

図 1.4.1

(2)「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば「ネットワークアダプタ」の下に「corega FastEther PCI-TX Ethernet Adapter」が表示されます。

図 1.4.2

本製品のアイコンに「×」「？」「！」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「2 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

(3)「corega FastEther PCI-TX Ethernet Adapter」を選択(反転表示)し、「プロパティ」→「全般」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

図 1.4.3　デバイスの状態

(4) 本製品が使用するI/Oベースアドレス、インタラプト(IRQ)などは、Windows98によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

図 1.4.4　リソースの確認

2. ネットワークの設定

(1) 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な項目の設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。ダイアログによって再起動を促されます。再起動後、施した設定が有効になります。設定についての詳細は、システム管理者にご確認ください。

図 1.4.5　ネットワークの設定

(2) 次に、本製品に関する設定を行います。「コントロールパネル」→「ネットワーク」→「corega FastEther PCI-TX Ethernet Adapter」→「プロパティ」→「ドライバの種類」と進み、「エンハンスモード」(デフォルト)に設定します。

図 1.4.6　ドライバの設定

(3) 次に、「詳細設定」タブでネットワークメディア(ネットワークケーブルおよび通信モード)の設定を行います。「値(V)」リストからご使用の環境に合ったものを選択します。詳細はシステム管理者にご確認ください。なお、通常は「Auto Sense」(デフォルト)でご使用ください。

図 1.4.7　ネットワークメディアの設定

1.5 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、本製品の最新ドライバーを入手したときや、Windows95 から Windows98 へアップグレードした場合に実行します。

注意

ここでは、最新のドライバーディスクを入手した場合を例に説明しています。Windows95 からアップグレードした場合も更新の手順は同じですが、手順(2)で選択するデバイスの名称、および、図1.5.1～1.5.4の画面に表示されるデバイス名が、AT互換機/PC-98NXの場合は「PCI Fast Ethernet DEC 21140 Based Adapter」、PC-9800/PC-9821の場合は、他社のデバイス名となりますのでご注意ください。

注意

ドライバーの新規インストール時に、「新しいハードウェアの追加ウィザード」の指示にしたがって、ドライバーディスクを使わずにWindows98 の CD-ROM からドライバーをインストールした場合も、Windows95 からアップグレードしたとき(P.2 参照)と同様に、AT 互換機 /PC-98NX の場合は「PCI Fast Ethernet DEC 21140 Based Adapter」、PC-9800/PC-9821の場合は、他社のデバイス用ドライバーがインストールされます。本製品はこのドライバーでは正しく動作しませんので、以下の手順にしたがって、必ず正しいドライバーに更新してください。

(1) Windows98 の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れてください。

(2) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」とたどり、「ネットワークアダプタ」の下の「corega FastEther PCI-TX Ethernet Adapter」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください(図 1.4.2 参照)。

(3) 下記のダイアログで「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新(U)」ボタンをクリックしてください。

図 1.5.1

(4) 「デバイスドライバの更新ウィザード」ダイアログが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。

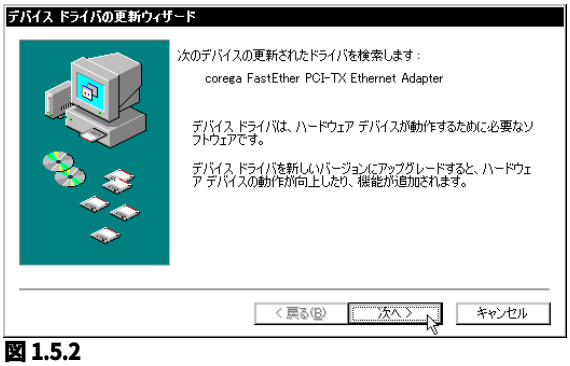

図 1.5.2

(5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

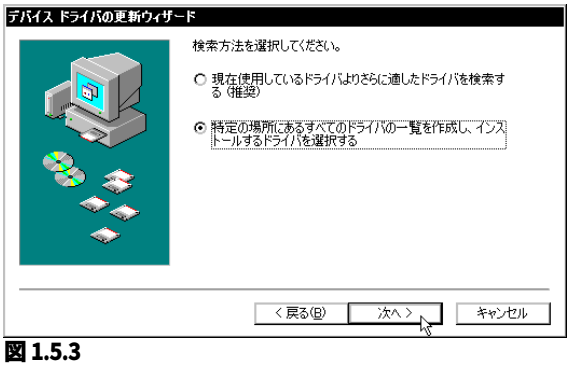

図 1.5.3

(6) 「すべてのデバイスを表示」ラジオボタンをクリックし、「ディスク使用(H)」ボタンをクリックしてください。(デフォルトは、「互換性のあるデバイスを表示」になっています)

図 1.5.4

(7) 本製品の最新の Windows 用ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、次のダイアログで「A:\windows.98」を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

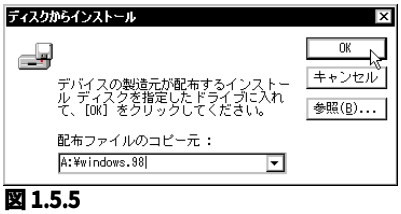

図 1.5.5

(8) Windows98 によって本製品のドライバーディスクが走査され、「デバイスの選択」ダイアログが現れ、モデル名には「corega FastEther PCI-TX Ethernet Adapter」が表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。次のダイアログは閉じ、図1.5.4に戻りますが、図1.5.4が自動的に閉じるまでそのまましばらくお待ちください(1～2分)。

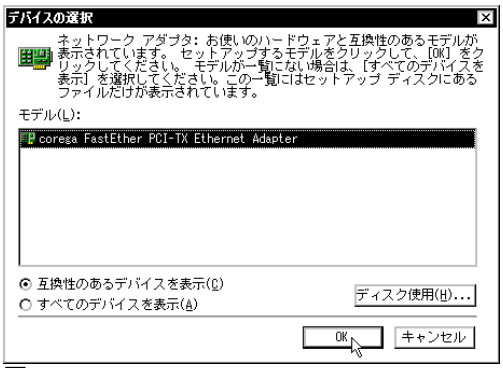

図 1.5.6

次のダイアログが表示されたら、「ファイルのコピー元」で「A:\windows.98」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。本製品のドライバー「COPCITX.sys」は、ドライバーディスクからコピーする必要があります。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

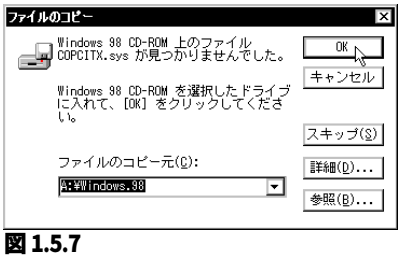

図 1.5.7

(9) 次のダイアログで「ドライバのある場所」が「A:\WINDOWS.98\NETCOKK.INF」であることを確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

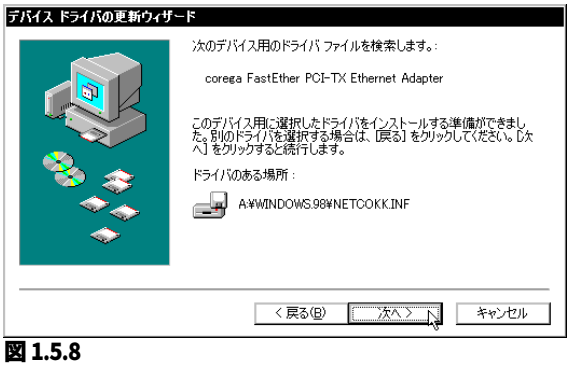

図 1.5.8

(10) 本製品のドライバー以外のファイルが CD-ROM からコピーされます。

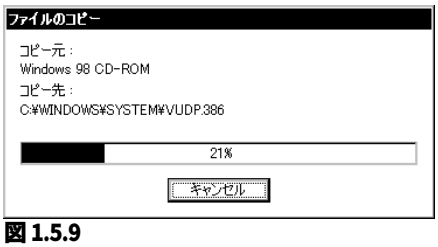

図 1.5.9

注意

「ファイルのコピー」ダイアログで、本製品のドライバー以外のファイルがみつからないと表示された場合は、AT 互換機 / PC98-NX の場合はパスとして「D:\win98」を入力し、PC-9800/PC-9821 の場合はパスとして「Q:\win98n」を入力してください。ここでは、CD-ROM ドライブ名をそれぞれ[D:」および「Q:」と仮定します。

(11)「完了」をクリックしてください。

図 1.5.10

(12) 次のダイアログが表示されます。フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」をクリックしてコンピューターを再起動してください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

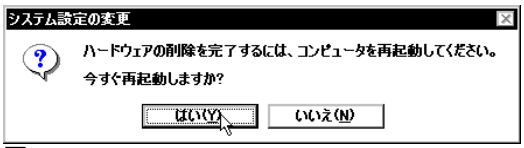

図 1.5.11

1.6 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから、再インストール作業を行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順に従って、間違ってインストールされたドライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

(1)「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「corega FastEther PCI-TX Ethernet Adapter」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。

図 1.6.1　ドライバーの削除

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

図 1.6.2　デバイス削除の確認

(3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

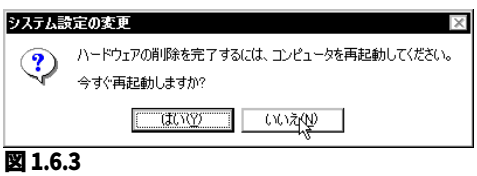

図 1.6.3

(3) 「ネットワークアダプタ」の下の本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」をクリックしてください。

図 1.6.4　削除後のデバイスマネージャ

(4) Windows98を「終了」し、コンピュータの電源をオフにして、PC 拡張スロットから本製品を取り外してください。

(5) 次回のWindows98起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

1.7 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

(1) 「1.6 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。

(2) 「1.3 ドライバーの新規インストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

2 ドライバーのトラブル

ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

注意　以下の手順は、本製品を拡張スロットに取り付けた状態で行ってください。

2.1 本製品を認識しない

「1.4 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「corega FastEther PCI-TX Ethernet Adapter」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

1 正常にインストールできない

2 「ネットワークアダプタ」の項目がない

3 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下にはいってしまった

4 デバイスマネージャで「!」「？」マークが付く

5 「corega FastEther PCI-TX Ethernet Adapter」が 2 つ以上ある

「2」や「3」のような障害は、ドライバーインストール中に行われる netapi.dll などの Windows98 関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまったなどの原因が考えられます。

注意　Windows95 で本製品を使用していて、Windows98 にアップグレードした場合、また、ドライバーの新規インストール時に、本製品のドライバーディスクを使用せずに、Windows98 の CD-ROM からドライバーをインストールして、インストールがうまくいかないと、AT 互換機 /PC-98NX の場合は「PCI Fast Ethernet DEC 21140 Based Adapter」、PC-9800/PC-9821 の場合は、他社のデバイス名で、「!」「?」マークが付くことがあります。この時も、「!」「?」マークが付いているドライバーを削除し、正しい手順で、もう一度インストールしてください。

ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

(1) 不正にインストールされた「corega FastEther PCI-TX Ethernet Adapter」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。

(2) 「1.6 ドライバーの削除」の手順の(2)以降に従い、ドライバーを削除します。

(3) 「1.3 ドライバーの新規インストールの手順に従い、本製品のドライバーをインストールします。」

2.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く

デバイスマネージャの「corega FastEther PCI-TX Ethernet Adapter」アイコンに「×」マークがある場合は、デバイスが「**使用不可**」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

(1) 「corega FastEther PCI-TX Ethernet Adapter」を選択(反転表示)し、「プロパティ」をクリックし、「全般」タブを表示します(図 3.3.1 ～ 3)。

(2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

2.3 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows98 に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないようにしておくと、値の重複を回避できます。

(1) Plug & Play非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト(IRQ)、I/Oベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。

(2) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「コンピュータ」→「コンピュータのプロパティ」パネル→「リソースの予約」と進みます。

(3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

3 ネットワークのトラブル

「**通信できない**」とか「**故障かな？**」と思われる前に、以下のことを確認してください。

3.1 LINK LED は点灯していますか？

LINK LEDは、ハブ(またはスイッチ)と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LEDは、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方の LINK LED が点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブの電源がオンになっているか確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「**ストレートタイプのケーブル**」を使用しなければなりません。
- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート(カスケードポート)を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続している場合、カスケードポートを「**MDI-X**」や「**to pc**」に設定しなければなりません(通常のハブのポートとして設定する)。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTPケーブルが不良ではありませんか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため、他のケーブルに交換してテストしてみてください。

3.2 LINK LED は点灯しているが ...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTP ケーブルの長さは正しいですか？ ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長**100m**と規定されています。
- 正しい UTP ケーブルを使用していますか？ 100BASE-T X では、「**カテゴリー5**」、10BASE-T では「**カテゴリー3**」以上のＵＴＰケーブルを使用しなくてはなりません。
- UTPケーブルが不良ではありませんか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため、他のケーブルに交換してテストしてみてください。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1998 株式会社コレガ

corega は株式会社コレガの登録商標です。
イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

1998 年 07 月 03 日　　Rev.A　　初版